

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2008-253263(P2008-253263A)

【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2008-042

【出願番号】特願2008-94907(P2008-94907)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/68 (2006.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/68 A

C 12 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月23日(2010.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

a) 標的RNAを含むとされる試料を提供する工程

b) 該標的RNAをcDNAに逆転写するためおよび該cDNAの少なくとも一部を増幅するために必要な全ての試薬を含む反応混合物を添加する工程

c) 20 ~ 65 の温度で0秒~40秒の時間間隔の間、該試料をインキュベートする工程

d) 該試料の温度が、少なくとも90 ~ 100 の第1の温度と50 ~ 75 の第2の温度との間で変化する、複数サイクルの熱サイクリングプロトコールに該試料を供する工程

を含む、標的RNAを増幅するためのワンステップRT-PCRを実施する方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

前記ワンステップRT-PCR反応が、少なくともDNA依存性ポリメラーゼ活性を含む熱安定性ポリメラーゼおよび少なくとも逆転写酵素の混合物によって触媒されることを特徴とする、請求項1~4いずれか記載の方法。